



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

●隼小学校が閉校となり、運動会、プール祭り、プルー斉清掃等が公民館単独での開催となった。集落の次に大きなコミュニティとしての隼地区を持続していくため、公民館が中心となって隼創生会（地域課題解決組織）、隼地区子ども会を組織し、隼地区まちづくり委員会等地区的他団体との連携や、共催事業を実施。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

●【隼プルー斉清掃（地域資源を活用したまちづくり）】教育委員会、日赤奉仕団、まちづくり委員会、小中学校、PTA、子ども会、隼Lab.等多数の方に参加を呼びかけ、約100名が参加している。毎年6月初旬に年1回実施しており、この活動の継続は、「**地区のプール**」との意識の醸成に繋がっている。

●【隼プール祭り（地域資源を活用したまちづくり）】50回の開催を数え、毎年400名近くが参加。小学校閉校後は歌われなくなった「水泳の歌」の子どもたちによる歌唱や、有志による演芸、集落対抗水泳リレー、宝拾い、お楽しみ抽選会などあらゆる世代の方が参加される地域の一大イベントとなっており、地域住民のほか帰省客の楽しみとなっている。

●【隼地区駅伝競走大会（健康づくり）】大人から小学生までが選手として参加し、隼地区を巡る駅伝。令和2年度で55回を数える当公民館最長寿のスポーツ大会。

●【隼地区敬老会（その他）】敬老者に**多数参加**して楽しんでいただくため、バス運行による送迎の充実や地区外からの演者招請による演芸の多様化を図っている。また、参加者の負担軽減のため、従来着座方式であったものを椅子方式へ変更したり、土足シートを利用して靴を履き替えなくても利用できるようにするなど、運営方法の見直しを行っている。

●【公民館だより（その他）】隼地区の方々に公民館活動を知って頂くため発行。行事予定や事業の紹介、地区の出来事を記載し、地区へのフィードバック。



体が楽な敬老会



プールサイド寄席

3. 取組による成果や効果

●隼プールへの思いが強い方が多く、一斉清掃をすることで「**自分たちのプール**」を大切にしたいとの思いが醸成されている。またプール祭りへの多数の参加に繋がっている。

●隼プール祭りの会場設営には多くの方々が関わることでスタッフも充実し、地区を挙げた楽しい行事となっている。

●隼地区駅伝競走大会では、集落単位のチーム編成に加え混成チームも誕生。周辺街頭の応援もあり、選手の走り甲斐にも繋がっている。

●「敬老会が楽しみになった。」といった声が聞かれるように。対象者の半数近くが参加。



隼地区公民館だより

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

事業の実施に当たっては、実行委員・体育委員・集落役員の意見を聞きながら実施している。

隼プール祭り、隼地区敬老会では反省会を開催するほか、講座等一部事業ではアンケートや対面による聞き取りを行っている。全体的な検証機会は八頭町公民館運営審議会のほか、老人会や婦人会、PTAなど各種団体長で構成する隼地区公民館運営委員会を開催し、地区住民の意見を伺い総括している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

隼プール等の地域資源や人材を活用し、地区住民のニーズに応える活動を行うとともに、子どもたちの未来へつなげるよう事業を実施し、もって持続的な隼地区の実現を図る。

【キーワード】隼に生まれ、育ち、暮らしてよかった。



プール側壁のリペイント

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

●人材データベースを整備し、どんな仕掛けができるのかを考え、そして実践する。

●地区住民のニーズに沿い、適宜スクラップ&ビルドを行い、様々な世代の参加による公民館事業の展開。

●世代間交流事業の推進。



世代間交流GG大会